

エコプレス 4月号

平成27年4月15日発行

暮らしのCO₂ダイエットニュースレター

発行：アジェンダ21すいたエネルギー部会
編集：関西大学良永ゼミ



読者の皆様、初めまして。これからエコプレスを担当させていただく良永ゼミ新3回生です。これから一年間よろしくお願いします。

日増しに春めいてきてまいりましたがいかがおすごでしょうか。さて、昨年度エコプレスを担当していた我々の先輩方はプレゼンの大会で賞を取りました！今回のエコプレスではその研究内容も紹介させていただきます。どうぞ最後までお付き合い下さい。

CONTENTS

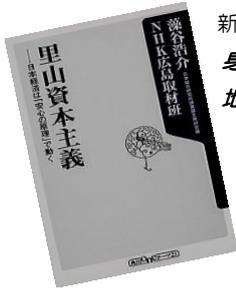
- | | | | |
|--------------------------|-----|-----------------------------------|-----|
| ● 表紙 | … 1 | ● エコクッキング | … 5 |
| ● エネルギーの宝箱 ～森林大国 NIPPON～ | … 2 | ● 吹田市フューチャー・デザイン・ワークショップに参加してきました | … 6 |
| ● 生き物たちからのサイン | … 3 | ● 映画紹介 | … 7 |
| ● 海外から学んでみよう！ | … 4 | ● イベント案内 | … 8 |



エネルギーの宝箱 ~ 森林大国 NIPPON ~



岡山県真庭市バイオマスツアーへ参加。
(ツアー詳細は1月号に掲載中!)



新書大賞 2014 の『里山資本主義』より
身の回りの資源を活かし、
地域を豊かにする分散型社会へ



再生可能エネルギーの1つである

木質バイオマス発電に注目!

- ① CO2 排出抑制
- ② 廃棄物抑制
- ③ エネルギーの有効利用

そこで見えてきたのは…

日本の『FIT制度の買取価格』の問題点だった!

=太陽光発電や風力発電とは違い、木材の種類ごとでしか価格が設定されていない。

=発電規模では、価格が設定されていないのが現状。

◇◆木質バイオマス発電の買取価格を**発電規模別**にする◇◆

バイオマス	間伐材等由来の 木質バイオマス	一般木質バイオマス	建設資材廃棄物
調達価格	32円	24円	13円
調達期間	20年間	20年間	20年間

良永ゼミからの
提案です!!

バイオマス 2000kw以下	間伐材等由来の 木質バイオマス	一般木質 バイオマス	建設資材 廃棄物
調達価格	55円	47円	36円
調達期間	10年間	10年間	10年間



中小規模のバイオマス
発電が増えることで

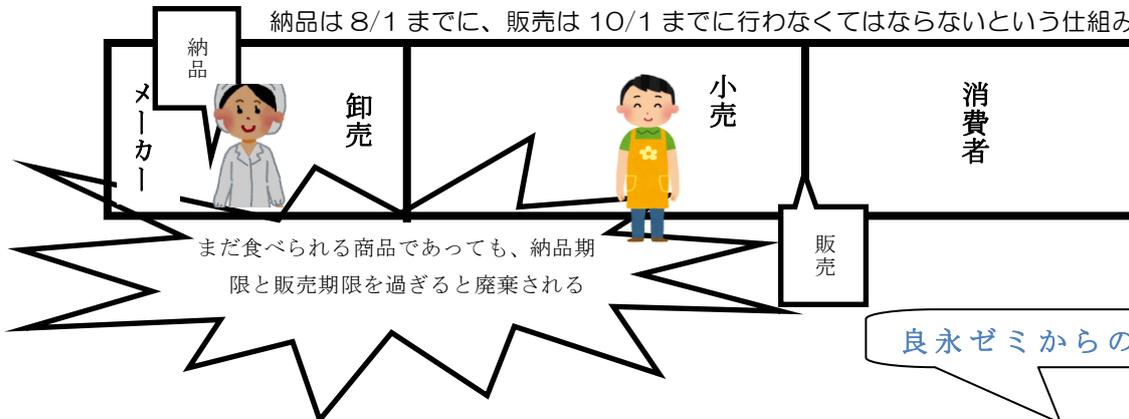
様々なメリットが!

- ◆燃料費(2012年比)
約 1兆6300億円
の流出抑制
- ◆CO2排出量(2012
年比)約 9.8%削減
- ◆火力依存度(2013
年比)約 14%低下

「もったいない」から変える食の未来

食品業界の1/3ルールとは…

例えば、製造日が6/1、賞味期限が12/1の食品の場合、
納品は8/1までに、販売は10/1までに行わなくてはならないという仕組み

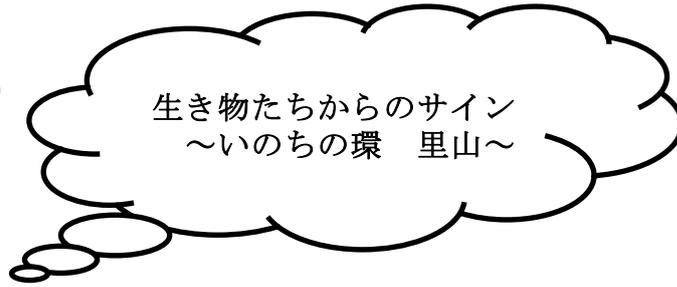


1 MC 制度 One More Chance System

販売期限を過ぎた商品に1 MC マークをつけて5%引で再販売する仕組み

20代から60代の男女332人名にアンケートを調査を行った結果、賞味期限が近いものでも、5%引であれば購入すると79%の人が回答しました!

1 MC 制度で卸売・小売で廃棄される在庫数が減少する!



里山を守るために…

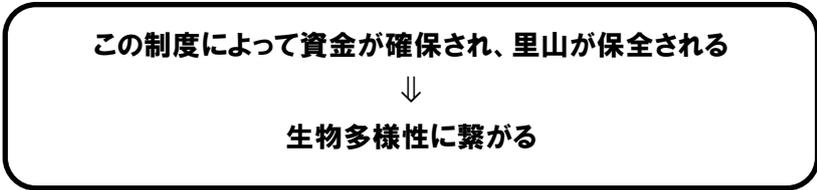
みなさんは、「里山」をご存じですか？里山とは、人の手が加えられていない奥山と、都市との中間に位置し、人の手によって維持管理されている山や田畑、ため池を指します。里山には、絶滅危惧種の約 50%が生息しており、生物多様性に欠かせない存在になっています。しかし、農林業の衰退により里山は利用されなくなってきており、豊かな生物多様性が失われつつあります。こうならないためにも、里山に手を加えて利用し、保全していかなければなりません。そのためには、資金を確保し、行政・企業・里山が里山保全に取り組む必要があります。では、どのように里山を保全していくべきなのでしょう？

そこで・・・良永ゼミの提案「里守基金」

里守基金は、企業の里山への貢献活動を行政が支援する制度です。まず、行政は企業が本来支払うべき法人住民税を控除し、その代償に企業は里山にお金を寄付します。そこで仲立ちをするのが行政であり、行政が里山の規模に応じて補助金を全国の里山に分配します。里山は与えられたお金を以下のように使用することができます。

- ① 里山の管理費 <専門業者に委託、ボランティア(耕作・収穫作業)に補助金>
- ② 生物の保護

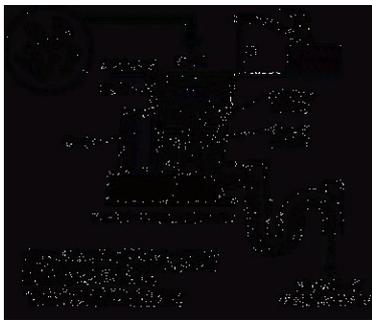
また企業は里山を使用し、企業活動が行えるため、里山に貢献しているという CSR のアピールができます。



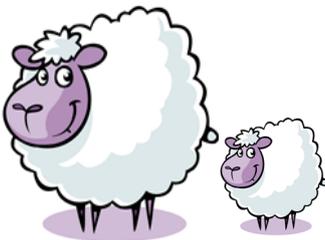
今こそ動くとき。人間、動物、すべての生き物の明るい未来を築きあげていきませんか？

海外から学んでみよう！！

私たちは、大学の春休みに語学留学としてニュージーランドに行ってきました。この国では自然環境自然保護について関心がつよく、そこから学べることが多くありました。中でも私たちは、家庭ごみの分別に興味を持ち、それらについて紹介していきたいと思います。



ディスポーザー (Insinkerater)…調理用シンクに接続されている生ごみ粉碎機、液体と固体に分けられた後、下水に流され、肥料に使われるそうです。害虫発生予防、悪臭防止、生ゴミ・燃えるゴミの削減に効果があると言われています。



ウィーリービン (Wheelie Bin)…地域によって色の違いはありますが、ニュージーランドでは、ウィーリービン(ゴミ箱)によってリサイクルするものとしらないものに分別されています。



パッカー車…ゴミ箱を持ち上げるクレーンがついており全自動でゴミ箱の中のゴミを回収している。車にハンドルが左右についていてドライバーはゴミ箱を確認しながら運転しているようです。機械化することによって、住民トラブルや安全面を考慮することにつながるそうです。



他にも・・・Clothing Bin というコンテナがあり、これは小児がん団体に家庭の不用品など、まだ使えるものを入れて寄付しています。このように海外のリサイクル事情は非常に発展していると感じました。

～購入から廃棄まで考える ～いのちをいただきます！～

2015年2月15日(土)
午前11時から午後3時半
@夢つながり未来館
青少年活動サポートプラザ(ゆいぴあ)

エコクッキング

～献立～

スープ、煮豚、サラダ、菜飯、マスコバド糖プリン

●買い物

・購入品

豚肉、ウインナー、ジャガイモ、カブ、卵… etc

・食材の選択ポイント

遺伝子組み換えでない、食品添加物が少ない、フードマイレージが低い

無農薬、減農薬、有機栽培、放牧卵、包装紙が少ない、買いすぎない、旬の物

●調理

米のとぎ汁は野菜の洗浄にも使う(節水) ⇒使用後はシンクに流さず庭の苗木などにやる

保温調理(エネルギー消費量削減)

ごみが出ないような野菜の切り方、皮ごと調理(ごみ削減)

☆フードマイレージ☆
食べ物が運ばれてきた距事!
国産、地産池消、等を選択
してみよう!



米のとぎ汁が混ざった水を綺麗な水にするためには・・・?



×1,300本!!!

●試食



☆コラム☆

マスコバド糖ってなに?

「マスコバド糖」とは、フィリピンの人たちが作ったサトウキビを搾って作った粉末の黒砂糖でミネラル分たっぷりの砂糖です。お互いの暮らしを助ける民衆交易(フェアトレード)で届けられます。

●片づけ

食器は不要な布などで拭いてから洗う

生ごみは風にさらして乾かしてから捨てる(ごみ減量)

約2時間風にさらした結果、平均約9グラム、最大17グラム減量できました!

終わりに

国産や地産池消を心がけたり、ECOバックを利用したり、料理をする時にできるごみを削減するなど自分にできる身近なECO活動から取り組んでいこうと思いました。



吹田市フューチャー・デザイン・ワークショップに参加してきました！！

☆2月28日に、うめきたオフィス（地域共創ラボうめきた）で開催された、第一回吹田フューチャーデザインワークショップ（大阪大環境イノベーションデザインセンター、吹田市 共催）に良永ゼミも伺いました！！

☆吹田 F.D.W.とは ⇒ 学生や市民の方、市役所の方、大学関係者が一同に会し、2050年吹田ビジョンを構想するというもの！ 未来ビジョンを参加協働型で作る新たな取り組みです！



皆さんは2050年ごろの吹田市をどのようにイメージしますか？
そのころは、どのような吹田市であってほしいでしょうか？

老後は病院やスーパーが近くにある都会に住みたいな。

育児や産休が取りやすく、子育てしやすい街がいいな。

いやいや、私は土に触れたいから、貸し農園等を利用して自給自足に近い生活を送りたいな。



20代から70代まで、幅広い世代間での議論を活発に行うことができました！！
それぞれの立場から、望ましい吹田の将来ビジョンを共に考えてデザインしていく第一歩を歩みだせました☆このワークショップは今後も継続開催される予定です。皆様も一度参加してみて、ご自身の考える理想の吹田市を話し合い今後の吹田市創りに携わってみてはいかがでしょうか☆

未来の食卓

原題：Nos Enfants Nous Accuseront

監督：ジャン＝ポール・ジョー

フランスの小さな村の1年間を描いたドキュメンタリー！

美しい自然に囲まれた南フランス、バルジャック村。ジョーレ村長は子供たちの未来を守るため“学校給食と高齢者の宅配給食をオーガニックにする”という前例のない試みに挑戦しました。

大人たちは「オーガニックは値段が高いのに、村の財政は大丈夫なのか」と戸惑っていましたが、オーガニック給食や学校菜園での野菜作りを通して自然の味を覚え込まれ、小さな村は少しずつ変化していきます。



<映画『未来の食卓』公式HP <http://www.uplink.co.jp/shokutaku/index.php> より>

この映画を見て・・・

作品の中では、オーガニック給食を導入した学校の子供たちの様子や、ユネスコ会議での健康に関する様々な数値の紹介、オーガニック農家と一般農家の“対話”の様子などが映し出されます。

中でもわたしたちが衝撃を受けたのは、農薬を散布している農家たちの悲痛な声でした。ある農夫は、農薬を調合している際に有害な空気を吸い込み、毎晩鼻血が出ると言います。わたしたちは有機農法に対する関心が薄く、知識もほとんどありませんでした。

作物に農薬を使用するということは、それを口にする我々消費者の健康に影響するだけではないのです。生産者やその地域に住む人々の健康を害してしまう、という事実をこの映画に教えられました。

オーガニックには費用がかかると考える人は多いでしょう。しかし、大量生産型農業の作物の多くは、多額の補助金の数々や汚染を排除するコストなどは値札上ではなく税金に加算されており、実際の費用を乗せると、安く“見えた”物は有機食品より高くなるそうです。

また、バルジャック村のジョーレ村長は次のように語ります。「費用がかかると言うが、健康は値段の問題ではない。(中略)先に費用の心配をするな。相談相手は自分の良心。それしかない。」

たくさんの人にこの作品を見てほしいとわたしたちは感じました。皆さんもこの作品を見て、ご自身の食卓を見つめかえてみませんか？

イベント案内

吹田産業フェア (入場無料)

フードコート、農業祭など、大人も子どもも楽しめる催しがたくさん！ また、環境部のブースにて、アジェンダ21すいた資源部会で風呂敷講習会を開催します。ぜひ、ご参加ください！

◆日時／平成27年5月9日(土)、10日(日) 10時～16時 ◆会場／メイシアター(吹田市文化会館)、吹田市役所駐車場 ◆主催／吹田産業フェア推進協議会

みどりのカーテン講座・暮らしのCO₂ダイエット 取組報告会

窓辺などでつる性の植物を育て、厚さを和らげませんか。作り方の実演指導、ゴーヤの苗配布も(1家庭2株)。環境家計簿の取組結果報告会も同時開催します。

◆日時／平成27年5月30日(土) 9時半～正午 ◆ところ／勤労者会館大研修室 ◆定員／100名 ◆費用／無料 ◆申し込み／5月1日(金)から電話でアジェンダ21すいた事務局(環境政策室6384・1782)へ。 ◆問い合わせ／電話かファックスで同室へ(FAX6368・9900)

アジェンダ21すいた会員募集

アジェンダ21すいたは、持続可能な社会を目指す市民、事業者、行政のパートナーシップ組織です。

暮らしのCO₂ダイエットをはじめ、様々な取組みを実践しています。

あなたも一緒に活動しませんか。

- ・個人会員：1,000円/年
- ・団体会員：5,000円/年
- ・賛助会員：1口1,000円/年
- ・準会員：無料

入会希望の方は、アジェンダ21すいた事務局まで【アジェンダ21すいた事務局】

〒564-8550

吹田市泉町1-3-40

吹田市役所環境部環境政策室内

TEL 06-6384-1782

FAX 06-6368-9900



エコプレス 4月号

発行：アジェンダ21すいたエネルギー部会
〒564-8550 吹田市泉町1-3-40

吹田市役所環境部環境政策室内

TEL06-6384-1782

FAX06-6368-9900

編集：関西大学 経済学部 良永ゼミ

- ・表紙・・・白川
- ・「もったいない」から変える食の未来・・・日下・谷下
- ・エネルギーの宝箱・・・矢野・吉田百
- ・生き物たちからのサイン～いのちの環 里山～・・・森・吉田夏
- ・海外から学んでみよう！！in ニュージーランド・・・川原・梶谷・山口・植松・日和崎
- ・購入から廃棄まで考える～いのちをいただきます！～・・・池元・坂本・田中貴
- ・吹田市フューチャー・デザイン・ワークショップに参加してきました！！・・・川上
- ・映画紹介～未来の食卓～・・・白川・田中千

暮らしのCO₂ダイエット協力団体・企業

大阪トヨペット株式会社吹田

関西大学経済学部良永ゼミ

大阪学院大学

編集後記

☆食品廃棄物の問題をきっかけに、日本の廃棄物の問題について見直し、今後さらに深めて研究していきたいと思いました。(日下・谷下)

☆私たちの今年の研究グループがエネルギー班ということで、学内大会と関西ブロックで優勝を飾った先輩のプレゼンをまとめました。

今年は、私たちの番。先輩方の想いを引き継ぐためにも、これからの研究に精進していきたいと改めて感じました。(矢野・吉田百)

☆里山は、生物多様性にはなくてはならないものです。より多くの人に里山を知ってもらい、また里山を守るために何ができるかなど、積極的に考えていくべきだと感じました。(森・吉田夏)

☆私たちは留学を通して現地でニュージーランドのごみ処事情を学ぶことができ、とてもいい経験になりました。これからはまた違う国のごみ処事情も調べていきたいと思います。(川原・梶谷・山口・植松・日和崎)

☆今回 ECO プレイスで活動を報告させていただき、自分たちの活動をもう一度見つめ直すことができました。

これから経験していく活動もしっかり振り返ることで今後の活動をより良いものにしていきます。(池元・坂本・田中貴)

☆今回のようなワークショップに参加したのは初めてでしたが、各世代・各立場で思い描く考えがとても新鮮で刺激を受けました。様々な立場の人が、一堂に会して一つの創造をしていく楽しさや必要性を実感しました。(川上)

☆もうもうと煙をあげながら農薬を散布する光景など、映像だからこそ感じられる衝撃がありました。是非見て頂きたいです。(白川・田中千)